



ポ プ ラ

学校教育目標「志に生きる」やる気 おもいやり たくましさ
生徒数 547名 教職員数 40名

夏休みが終わって

校長 結城 正弘

7月21日から始まった38日間の夏休みがとうとう終わりました。7月は、毎日30℃を超える暑い日が続きましたが、8月に入ってからは、梅雨を思わせる天候で、それほど暑くもなく過ごしやすい夏休みとなりました。休み中、自分で計画したことはしっかり実行できたでしょうか。夏休みだからできること、それらを体験したり頑張ったりしたことが、皆さんの知識を広め、心を豊かにし、体をたくましくするなど様々な面で成長につながります。第3学年では、8月1日から8日間のサマースクールを実施しました。いよいよ3年生は進路に向けて本格的に取り組む重要な時期となりますので、有意義な夏休みとなったことでしょう。

また、夏の学校総合体育大会においても、各部共力を合わせ頑張りました。バドミントン部・卓球部・男子テニス部・陸上部・男子バスケット部・女子バスケット部が地区大会を勝ち抜いてみごと県大会に出場しました。そして、陸上部では、日高志允君が全国大会800mに出場することができました。また、新井健斗君が関東大会1年1500mに出場し見事3位に入賞しました。柔道では1年中根愛沙さんが県大会に出場し、水泳では2年酒井凌さんが全国大会100m、200m背泳ぎに出場しました。本当に素晴らしいことです。今後、3年生が引退し、1、2年生で部活動を行っていくわけですが、日々の練習をしっかりと行い、3年生が築いた伝統を受け継いでいってください。

さて、今年は2年に一度の世界陸上競技選手権大会がイギリスで開催されました。人類最速男と呼ばれたジャマイカのウサイン・ボルト選手がこの大会で引退するというので、私は、朝早く起きてテレビ観戦をしました。男子4×100mリレーでは、アンカーのボルト選手が左太もも裏のけいれんを起こし、ラストランは途中棄権というアクシデントがおきました。結果、日本チームが銅メダルを獲得することができ、非常に複雑な、そして、思い出に残る大会となりました。ボルト選手の気持ちを思うと非常に辛いことだったと思いますが、最後、ボルト選手は、観客とトラックに感謝の気持ちを表して、競技場を去って行きました。このように一生懸命に取り組んでいる人の姿は、とても感動的なものです。

2学期がスタートしました。これからも「メリハリのある生活」をしていきましょう。集中する時はしっかり集中し、盛り上がる時は大いに盛り上がるというように、夏休み明けも「メリハリのある生活」を意識して過ごしましょう。そして、勉強に運動に一生懸命に取り組み、相手の気持ちを考えた生活をして、「いじめ」のない久喜中学校にしていきましょう。